

通常の学級に在籍する一斉指導での理解に難しさのある小学5年生の児童について、校内の連携により指導を充実させた事例

1. 事例の概要

通常の学級に在籍するA児（小学校5年生）が、通級による指導を活用しながら学習を行っている事例である。

A児には、ことばのやりとりや数の計算、認知面や対人関係面での苦手さがあり、一斉指導での理解に難しさがみられた。そのため、1年生後半から保護者と学級担任及び通級による指導担当者が合意形成を図り、通級による指導を実施してきた。

通級による指導を週3時間設定し、視覚的な補助資料の活用、單元ごとの学習内容の精選、課題提示方法の工夫をしながら国語と算数の苦手な部分を指導している。指導に当たっては、学級担任、通級による指導担当者、特別支援学級担任、合理的配慮協力員等が連携に努めている。特に、学級担任と通級による指導担当者間において、ねらいと活動内容を示した「連絡帳」を作成し、日常の取組や情報を両方で共有し活用している。

その結果、A児は、通常の学級での学習を基本に、通級による指導を積み重ねることによって、意欲と集中力の向上と学習面での充実がみられた。

キーワード 通常の学級、通級による指導、校内の連携

2. 児童の実態

A児は、小・中一貫校B学園5年生で、通常の学級に在籍している。日常生活面や社会生活面での大きな困難さはないが、認知面や対人関係面でのつまずきが認められる。アセスメントによると、言葉での理解や聴覚的な処理は苦手であり、また、言語の理解、数の大小や増減の理解、計算等を苦手にしており、1年生後半から通級による指導を実施してきた。

一斉指導での理解が難しい教科もあり、週3時間通級による指導を受けている。

3. 本事例に関する基礎的環境整備

- 特別支援学級在籍者及び通級による指導を受ける児童について、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成している。また、通常の学級に在籍し、配慮が必要な児童生徒については、資料をまとめた「個別の指導資料」を作成している。【基礎3】
- 電子黒板や実物投影機、タブレット型端末等のICT機器を整備し、理科や社会（地図帳）、英語においては、デジタル教科書を授業で活用している。【基礎4】
- 校内にエレベーターを設置するなど、校内環境のバリアフリー化を進めている。必要に応じて個別学習ができる教室を整備している。【基礎5】
- 通級による指導担当者が、状況に応じて児童の所属している学級に出向き、学級内での個別指導に当たっている。【基礎6】
- 通常の学級の担任とのきめ細かな連携を図るために、その日の学習内容や結果について「連絡帳」に記載し報告している。【基礎7】

4. 合意形成のプロセス

B学園では、通級による指導の対象となる児童に対して、具体的な配慮を決定するに当たっては、①学級担任と通級による指導担当者の協議、②校内支援委員会等での協議、③本人・保護者との話し合い（学級担任、通級指導教室担当教員、必要に応じて合理的配慮協力員、教頭も加わる）、④本人の最終希望の確認、⑤校長の判断（教育委員会との調整）の流れで行っている。

A児についても毎年度確認してきており、小学4年生終了時の本人や保護者からの通級による指導の希望に基づき、保護者と学級担任、通級による指導担当者、合理的配慮協力員が面談し、本人や保護者の意思を確認した上で、継続することとした。

5. 合理的配慮の実際

- 言語による指示理解は難しいものの視覚的な処理は比較的得意であるため、実物や具体物を取り入れ、課題を色分けや矢印で示したり、動作と言語を結びつけイメージをもちやすいように工夫している。【合理①－1－1】
- 筆算では位をそろえるため線を引いたプリント、時間の計測ではタイムタイマーを活用している。文章問題の計算では立式に重点を置き、実際の計算には電子卓上計算機も用いた結果、解答できた問題数が増えた。【合理①－1－2】
- A児が在籍する通常の学級には、大型ディスプレイ、電子黒板を設置し、視覚を活用した情報提供に配慮している。通級による指導では、文の復唱や聴写、相手からの質問に対しては「聞き取りメモ」を使い、応答するなどの取組を進めている。【合理①－2－1】
- A児も含め、特別な支援を要する児童生徒について年2回、小・中学校の全教員による校内支援会議を開催し、課題や対応策等について共通理解を図っている。【合理②－2】

6. 本事例の成果と課題

A児は、通常の学級での学習を基本に、特性に配慮した学習を通級による指導で積み重ねることにより、意欲や集中力の向上と学習面での充実がみられた。通常の学級の担任と通級による指導担当者、特別支援学級担任、合理的配慮協力員等との連携により、A児への合理的配慮が提供できた。

また、A児の特性に見合った個別課題の設定、ICT機器の活用により学習理解が深まり、A児の「分かる、できる」という実感につながっている。また、通級による指導が通常の学級でも生かされた。